

●基本目標 1 輝きとぬくもりのまち(その1)

【地域づくり・子育て支援・教育・健康づくりなど】

地域集会所建設費補助事業 199.3万円

(担当：企画部 市民活力推進課)

自治会・町内会で地域集会所を建設（新築・改築・購入・増築）する際、その費用の一部（補助率4割程度、上限200万円）を補助します。

今年度は、金拓地区の集会所の新築に補助します。

主な経費

- 補助金 199.3万円

財源

- 市の負担額 199.3万円

地域集会所修繕費補助事業 100万円

(担当：企画部 市民活力推進課)

自治会・町内会で地域集会所を修繕する際、その費用の一部（補助率4割程度、上限100万円）を補助します。

今年度は、鬼神地区の集会所の修繕に補助します。

主な経費

- 補助金 100万円

財源

- 市の負担額 100万円

市民まちづくり活動支援事業 160万円

(担当：企画部 市民活力推進課)

自主的にまちづくり活動を行う市民団体を支援・育成するため、次のような活動の費用の一部を補助します。

- ①市民参画型のイベント等（補助率1/2以内・上限40万円）
- ②地域課題解決のための調査研究等（補助率2/3以内・上限35万円）
- ③その他市民参画による自主的なまちづくりを推進する事業またはその準備事業（補助率2/3以内・上限35万円）

主な経費

- 補助金 160万円

財源

- 市の負担額 160万円



ストリートライブ
フェスティバル

若者魅力発見・発信事業 50万円

(担当：企画部 総合政策課)

市の若手職員が検討した事業の一つです。

がんばっている若者へ取材を行い、新たにブログの立ち上げや若者目線の地域マップの作製などを行います。

主な経費

- 地域マップ印刷費 37.8万円
- 取材等費用 12.2万円

財源

- 市の負担額 50万円

地域で取り組む子育て支援事業 38.9万円

(担当：市民福祉部 子育て支援課)

市内の小売店や飲食店が協賛店となって子育て世帯を応援する仕組みです。

子育て家庭が協賛店で優待を受けられる、能代すくすくまごころパス事業「めんchoco」をさらに充実させるため、利用可能な店舗を検索できる専用ホームページの作成などを行います。

主な経費

- 専用ホームページ作成委託 26.8万円
- のぼり購入費 12.1万円

財源

- 市の負担額 38.9万円

ファミリーサポートセンター・つどいの広場事業

(担当：市民福祉部 子育て支援課)

751.6万円

ジャスコ能代店の3階に、つどいの広場「ぼけっと」を開設し、親子が集える場の提供や子どもの一時預かり（利用者負担1時間300円）を行っています。

ここでは、ファミリーサポートセンターとして、保育などの援助を受けたい人で行いたい人の橋渡し役も担っています。

主な経費

- 事業委託 751.6万円

財源

- 国の交付額 100万円
- 県の補助額 290.3万円
- 利用者負担額 26.1万円
- 市の負担額 335.2万円



つどいの広場「ぼけっと」

放課後児童会運営事業 2,385.1万円

(担当：市民福祉部 子育て支援課)

保護者が仕事などで日中不在の家庭の小学1～3年生の児童に対して、遊びや生活の場を設けています。

能代地域では6カ所、二ツ井地域では3カ所、開設しています。

主な経費

- 会の運営費用 2,260.1万円
- 施設改修費補助金（1カ所） 125万円

財源

- 国・県の補助額 1,012.4万円
- 市の負担額 1,372.7万円

放課後子ども教室推進事業 603.9万円

(担当：教育部 生涯学習課)

各小学校に放課後子ども教室安全管理員などを配置し、放課後や週末に子どもたちのさまざまな体験活動の場を設けています。

主な経費

- 子ども教室運営費用 603.9万円

財源

- 国・県の補助額 398.6万円
- 市の負担額 205.3万円

奨学金貸付事業 3,225.7万円

(担当：教育部 学校教育課)

経済的理由により就学が困難な高校・大学等の学生に奨学金を無利子で貸します。

大学等進学の場合、月額4万5千円を上限に借りることができます。

主な経費

- 貸付金 3,225.7万円

財源

- 市の負担額 3,225.7万円
(うち貯金の取り崩し 3,222.4万円)

ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業

(担当：教育部 学校教育課)

1,080万円

今年度から新たな奨学金制度（無利子貸付）を設けました。

これは、卒業後に能代山本地域に居住した場合、貸付金の返済の一部（最大1/2）を免除するものです。

大学等進学者が対象で、月額4万5千円を上限に借りることができます。

主な経費

- 貸付金 1,080万円

財源

- 市の負担額 1,080万円
(うち貯金の取り崩し 1,080万円)

第四小学校建設事業 15億1,874.7万円

(担当：教育部 教育総務課)

老朽化している第四小学校の建設を進めています。

今年度は、校舎と体育館を建設し、22年度から新校舎に移る予定です。

主な経費

- 校舎・体育館建設工事等 15億1,874.7万円

財源

- 国の補助額 3億5,298.8万円
- 市の負担額 11億6,575.9万円
(うち市の借金 11億6,440万円)

南部共同調理場建設事業 6億2,507.1万円

(担当：教育部 教育総務課)

第四小学校に併設する南部共同調理場の建設を進めています。

22年度から使用できる予定です。

主な経費

- 共同調理場建設工事等 6億2,507.1万円

財源

- 国の補助額 5,962.8万円
- 市の負担額 5億6,544.3万円
(うち市の借金 5億6,540万円)

二ツ井小学校建設事業 13億1,032.7万円

(担当：教育部 教育総務課)

老朽化している二ツ井小学校の建設を進めています。

今年度は、校舎と体育館の建設などを行い、22年度から新校舎に移る予定です。

主な経費

- 校舎・体育館建設工事等 12億7,465.2万円
- 外構整備工事 3,567.5万円

財源

- 国の補助額 4億8,569.8万円
- 市の負担額 8億2,462.9万円
(うち市の借金 8億2,460万円)

二ツ井共同調理場建設事業 4億1,149.1万円

(担当：教育部 教育総務課)

二ツ井小学校に併設する二ツ井共同調理場の建設を進めています。

22年度から使用できる予定です。

主な経費・財源

- 共同調理場建設工事等 4億1,149.1万円

財源

- 国の補助額 2,722.5万円
- 市の負担額 3億8,426.6万円
(うち市の借金 3億8,420万円)

●基本目標 1 輝きとぬくもりのまち(その2)

【地域づくり・子育て支援・教育・健康づくりなど】

健康診査事業 1億1,058.8万円

(担当：市民福祉部 健康づくり課)

疾病の早期発見と早期治療を図るため、保健センター健診、二ツ井地区集団健診などを行います。

一般的な健康診査や各種がん検診などを受けることができます。

主な経費

- 各種健康診査費用 1億1,058.8万円

財源

- 県の補助額 141.7万円
- 検診等の自己負担額 5,113.9万円
- 市の負担額 5,803.2万円

乳幼児健康診査事業 569.2万円

(担当：市民福祉部 健康づくり課)

乳幼児の健全な発育の確認などのため、4カ月児健診、10カ月児健診、1歳6カ月児健診、3歳児健診、2歳児歯科健診を行っています。

主な経費

- 乳幼児健康診査費用 569.2万円

財源

- 市の負担額 569.2万円

母子保健事業 3,595.5万円

(担当：市民福祉部 健康づくり課)

妊娠後の母体と胎児の異常の早期発見・早期対応を図るため、妊婦健康診査の助成などを行います。

妊婦健康診査は、今年度から一般健診の助成回数を7回から14回に拡充し、新たに子宮頸がん検査を設けるなど、妊婦にかかる経済的負担を軽減しました。

主な経費

- 母子健康手帳交付 6.1万円
- 妊婦保健指導 5.7万円
- 母子健康教育 12.5万円
- 妊婦健康診査 3,517.4万円
- 母子訪問指導 53.8万円

財源

- 県の補助額 1,194.9万円
- 市の負担額 2,400.6万円

マミークラス
「ベビーマッサージ」



予防接種事業 4,818.4万円

(担当：市民福祉部 健康づくり課)

伝染病を予防するため、集団予防接種（ポリオ）、個別予防接種（二種混合・三種混合・麻しん風しん・日本脳炎・高齢者のインフルエンザなど）を実施しています。

主な経費

- 予防接種費用 4,818.4万円

財源

- 市の負担額 4,818.4万円

軽度生活援助事業 644.7万円

(担当：市民福祉部 長寿いきがい課)

65歳以上の高齢者のみの世帯に利用券を交付し、草取りや除雪など日常生活上の軽易な援助を行います。

年間12時間まで利用することができ、自己負担は、世帯の課税状況によって1時間あたり300円または100円です。

主な経費

- 軽度生活援助委託 634.4万円
- 利用券印刷費 10.3万円

財源

- 市の負担額 644.7万円



草取り作業



青空デイサービス事業**28.9万円**

(担当：市民福祉部 長寿いきがい課)

高齢者の生きがいづくりや介護予防のため、新たに軽易な農作業体験などを行います。

今年度は、老人福祉エリア内のふれあい農園を中心に活動を行います。

主な経費**【介護保険特別会計】**

- 農作業体験等費用 28.9万円

財源

- 国の負担額 11.8万円
- 県の負担額 5.9万円
- 介護保険料 5.5万円
- 市の負担額 5.7万円



おとも苑・ふれあい農園

旧金勇活用事業**196.7万円**

(担当：企画部 総合政策課)

国の有形文化財として登録されている旧金勇は、木都能代を象徴する歴史的建造物であることから、市民の財産として後世に引き継いでいくため、市で寄贈を受けました。

今年度は建物本体の公開見学を中心に、試験的に行事などへの広間の貸し出しも行いながら、市民協働による保存や地域振興のための利活用の仕組みづくりを行います。

22年度では建物改修を予定しています。

主な経費

- 旧金勇維持管理費用 196.7万円

※このほか、緊急雇用創出事業の中で管理人委託を行っています。

財源

- 市の負担額 196.7万円

**(仮称) 檜山地域拠点施設整備事業**

(担当：企画部 市民活力推進課)

1,186.2万円

貴重な歴史資源が残る檜山地域の歴史の里づくりを住民と協働で進めていくため、(仮称)檜山地域拠点施設整備の準備を進めています。

今年度は、地質調査や実施設計などを行います。22年度では施設整備を予定しています。

主な経費

- 地質調査・実施設計委託 1,186.2万円

財源

- 市の負担額 1,186.2万円
(うち市の借金 720万円)
(うち貯金の取り崩し 466.2万円)

全天候型陸上競技場整備事業 2,320.5万円

(担当：教育部 スポーツ振興課)

地域の児童生徒のスポーツ環境を整備するため、既存の陸上競技場の曲走部を変更し、トラックを全天候型にするなどの改修を行います。

今年度は、地質調査と実施設計を行います。24年度から使用できる予定です。

主な経費

- 地質調査・実施設計委託 2,320.5万円

財源

- 市の負担額 2,320.5万円
(うち市の借金 2,200万円)
(うち貯金の取り崩し 120.5万円)

